

CENTENARY

2009. 11. 12

第 38 号

兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成

人権講演会

東京大学大学院客員研究員

藤井輝明先生

10月22日午後1時から
体育館にて、人権講演会を
開催しました。

講師としてお招きした藤
井輝明先生は、2歳の頃か
ら右頬に赤み（海綿状血管
腫）が現れ、顔の右半分が
ただれたように膨れあがり、
幼少期から様々な「いじめ」
にあわれました。しかしそ
れにも負けず勉学に励み、
4つの大学を卒業され、多
くの大学で教授として教鞭
をとられました。現在は東
京大学大学院で客員研究
員として学ばれています。



熱弁を振るう藤井先生

講演はそのような先生
の経験をもとに、病気や
障害・容姿などを理由に
いじめや差別することの
無意味さをユーモアも交
えて明るく熱く訴えるも
のでした。

生徒たちは、中間考査
最終日という疲れがピー
クの時にもかかわらず、
藤井先生の話術に引き込
まれて熱心に耳を傾けて
いました。



藤井先生を囲んで（後列右から3人目）



祝「日展」

連続入選

第41回日展（日本美術
展覧会）第5科書部門に
本校の山口美鈴（霞流）



山口先生
恩師（師匠）と共に

山口先生談
「専門家の展覧会である日展に
入選できて、とても嬉しく思っ
ています。これも日頃の加古川
西の先生方の応援や、生徒たち
の前向きな姿勢に刺激されたか
らだと、大変感謝しています。
受賞式のあった東京では私の
書道の師匠とお会いしました。
師匠からは今なお、書道だけで
なく人としての在り方を学んで
います。これからも師匠のお言
葉を大切に、一層『書の道』
を極めるよう努力していきたい
と思っています」



山口先生作品
「石川啄木詩 曉鐘」（卷子部分）

先生が、昨年に引き続き入
選（3度目）されました。
（作品名「曉鐘」）おめで
とうございます。



祝「平沼亮三章」

受賞

青少年陸上競技者の指
導に功績があった指導者に
贈られる同章を、本校の榎
本先生が受賞されました。
おめでとうございます。



受賞される榎本先生

榎本先生談
「団体において、高校の指導者
に贈られる平沼亮三章を、今ま
でご指導いただいた方々と、必
死に付いて来てくれた選手たち
のおかげで受賞することができ
ました。目標とする素晴らしい
先生方と共に受賞することとな
り、嬉しさと身の引き締まる緊
張感でした。この章に恥じぬよ
うに、『速い選手より信頼され
る選手』育成に、一層励んでい
きたいと思えます」

ちょっと一言 「だらしない」とは、けじめがない、しまりがないといったことですね。同じ意味の「しだらない」の音節順序を入れ替えられた言葉です。「しだら」は使われなくなっていますが、「ふしだら」が残っています。他説には「自堕落」が訛ったともいわれています。さて、「あなたは「だらしない」行為をしていますか？例えばくものを食べながら、飲みながら歩くとか、くところ構わずお尻を下して座るとか。中には電車の中で化粧をしている人も見かけますよね。人前で化粧も含め、身づくろいをするのは恥ずかしいことなんです。見られているからやらないのではなく、やっではいけない恥ずかしいことと捉えましょう。